



アクセス

旭川市 - - - 上川町 - - - 層雲峠

車 旭川北IC～上川層雲峠ICまで約30分
上川層雲峠IC～層雲峠温泉まで約25分

JR JR旭川駅～JR上川駅まで約40分(特急)

バス JR旭川駅前バスターミナル(道北バス)
～層雲峠バスターミナルまで約110分

お問合せ

自然情報

層雲峠ビザーセンター
〒078-1701 北海道上川郡上川町字層雲峠
 TEL (01658) 9-4400
<http://sounkyovc.net/>

観光・宿泊情報

(社)層雲峠観光協会
〒078-1741 北海道上川郡上川町中央町605
 TEL (01658) 2-1811
<http://www.sounkyo.net/>

編集・発行：層雲峠ビザーセンター
層雲峠コミュニティスクール

大雪山と温泉の町・「上川町層雲峠みどり情報」②

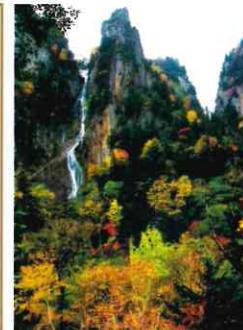


一度は見たい北海道の原風景

層雲峠

秋
ガイド

SOUNKYO AUTUMN GUIDE



大雪山国立公園





大雪山・層雲峠の紅葉

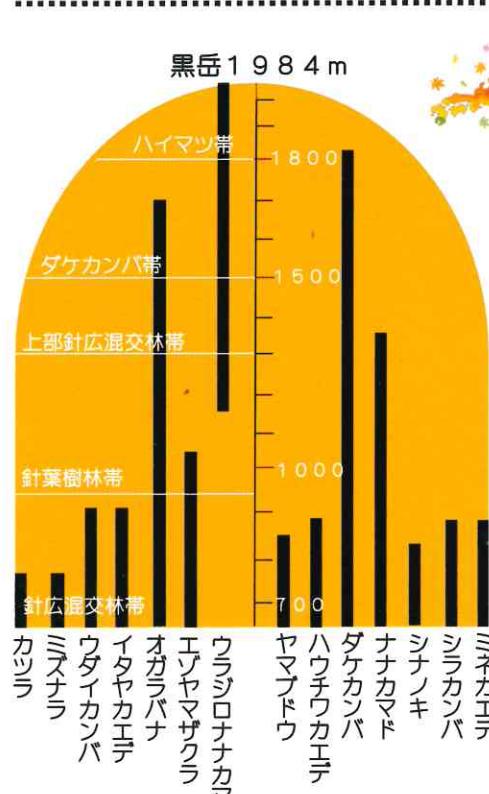
「日本一美しい大雪山の紅葉」

大雪山の秋は早く、8月下旬ともなると高山帯では初霜が降り、ウラシマツツジやチングルマなどが色づき始めます。日本の紅葉前線は大雪山から始まり、9月上旬にはウラジロナナカマドの赤色やダケカンバの黄色など、鮮やかな色彩が山全体に広がり、中旬を過ぎる頃には山の中腹部へと移行していきます。特に銀泉台や高原沼コースの紅葉は色鮮やかに色づくことで知られています。紅葉前線は、山頂から1ヶ月ほどかけて山を下り、10月初旬には層雲峠に到達します。

層雲峠紅葉カレンダー

9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬
青葉	色づき始め	色づく	見頃
			色褪せ 落葉

* 層雲峠峡谷の標高は650~1000m程度



「樹木の垂直分布・黒岳」

植生は南から北に行くに従い、気候の変化とともに徐々に移り変わりますが、その変化を見るためには何百km、何千kmと移動しなければなりません。

しかし、山岳地域では同様の植生変化を同一の山の麓から山頂に登ることで見ることができ、このような植物帯の移り変わりを垂直分布といいます。

- ・針広混交林帶
650 (温泉街) ~ 930 m (3合目)
- ・針葉樹林帶
930 (3合目・映月峰周辺) ~ 1300 m (5合目駅舎周辺)
- ・上部針広混交林
1300 (5合目駅舎周辺) ~ 1500 m (7合目リフト乗降場)
- ・ダケカンバ帶・亜高山帶
1500 (7合目) ~ 1800 m (8合目)
- ・高山帶・ハイマツ帶
1800 m以上~

層雲峠～黒岳の紅葉・黄葉する樹種



層雲峠紅葉ポイントマップ

紅葉スポット	見頃時期
陸万万景壁	10月中旬頃
層雲峠発電所	10月中旬頃
高山バス停	10月中旬頃



紅葉スポット	見頃時期
紅葉谷	10月上旬頃
カムイの森	9月下旬頃
層雲峠園地	10月上旬頃

紅葉スポット	見頃時期
銀泉台	9月下旬頃
高原温泉	9月下旬頃
三国峠	10月上旬頃



* 紅葉の見頃は年により異なる場合があります



層雲峠峡谷

層雲峠とは峡谷全体を指しますが、アイヌ語地名的には、大函から陸万までの全長約 16 km の範囲を指します。境界にはニセイの名が付く川があり、上流から「ニセイチャロマップ川」、「ニセイノシキオマップ川」、「ニセイケショマップ川」の3つの川が石狩川に流れ込み、これらの範囲を層雲峠と呼んでいます。国道沿いからもきれいな紅葉を楽しむことができ、清川から三国峠までの距離は全長約 50 km になり、10月には国内最大級の紅葉街道となります。



現地情報 1

- 国道沿いでは、柱状節理や奇岩群、滝などが見られます。情報は層雲峠ビジターセンターまで。☎ 01658-9-4400

現地情報 2

- 国道沿いでは、駐車帯がない場合もある事から、駐車の際や写真撮影の際は、十分に気を付けましょう。



紅葉谷

紅葉谷は、層雲峠温泉街から 1 km ほど奥に入った赤石川沿いにある散策路で、層雲峠温泉の源泉地にもなっており、入口から 200 m 範囲には 20 以上もの湧出口があります。散策路沿いでは柱状節理や落差 10 m の紅葉滝が見られ、紅葉谷は層雲峠の数ある紅葉スポットの中でも、華やかな色彩と静寂さを保つ紅葉の名所となっています。見頃は例年 10 月上旬～中旬頃。



現地情報 1

- 層雲峠温泉周辺のホテルでは、紅葉を眺めながら温泉に入ることができます。層雲峠観光案内所☎ 01658-5-3350

現地情報 2

- 宿泊案内や各ホテルでの日帰り入浴の時間帯など、お問い合わせは層雲峠観光案内所まで。



黒岳7合目・カムイの森散策路

5合目駅舎の展望台からは、南西に黒岳、桂月岳、凌雲岳、上川岳が連なり、北北東には遠く天塩岳、温泉街正面には朝陽山、ニセイカウシュッペ山が見えます。そして眼下には広々とした森林帯が広がり、石狩川の流れが蛇行しながら峡谷を刻んでいくさまが見られます。カムイの森は、ダケカンバ帯のなかを通る全長340mの散策路で、終点には展望台があり、そこからは「あまりょうの滝」や黒岳山頂までの素晴らしい景色が広がっています。



黒岳7合目・カムイの森展望台



現地情報1

・黒岳の紅葉や雲海情報は、黒岳ロープウェイで、事前に情報を得ると便利です。

☎ 01658-5-3031



現地情報2

・高い山では、9月下旬には降雪になることもあるので、手袋や帽子などの防寒対策をしっかりしましょう。



赤岳・銀泉台

銀泉台は標高1500m地点にあり、春から夏にかけては雲海や登山、秋は紅葉見物など多くの観光客が立ち寄る観光地となっています。赤岳・銀泉台は、大雪山のなかでも最も早くから色づき、美しい紅葉が見られる場所としても知られている紅葉スポットとなっています。色づく主な樹木は、ウラジロナナカマド、オガラバナ、ウコンウツギ、ダケカンバなどが9月上旬頃から色づき始め、中旬頃には山の斜面全体に広がっていきます。



銀泉台



赤岳第3雪渓



現地情報2

・紅葉期は、銀泉台までシャトルバスが運行。お問い合わせ先・上川町役場

☎ 01658-2-4058

現地情報1

・紅葉情報は、層雲峠ビジターセンターまでお問い合わせください。

☎ 01658-9-4400



大雪高原温泉・沼巡り

大雪高原温泉は、道内で2番目に高い場所にある温泉地で、周辺には緑岳登山口や高原沼があります。高原沼には大小様々な沼があり、点在する沼には、「空沼」「高原沼」「大学沼」「式部沼」「蝦夷沼」「緑沼」「滝見沼」などの名称がつけられています。沼周辺では、ウラジロナナカマド、ナナカマド、ミネカエデ、ダケカンバなどの様々な紅葉や黄葉がみられ、沼全体の紅葉期は例年9月中旬から下旬にかけて色づいてきます。



緑沼



滝見沼



現地情報 1

- ・沼巡り前には、ヒグマ情報センターで情報を得てから散策しましょう。
- ・高原山荘で長靴の貸し出しあります。(有料)

現地情報 2

- ・紅葉期は、高原山荘までシャトルバスが運行。お問合せ先・上川町役場 ☎ 01658-2-4058



三国峠

三国峠（標高1139m）は、上川町と上士幌町の境界にあり、北海道の国道沿いでは最も高い場所にある峠で日本三大山岳峠にも選定されています。周辺には、三国山（標高1541m）があり、三国とは明治時代の旧地名「石狩の国」、「北見の国」、「十勝の国」の3つの境界にあることから名付けされました。峠周辺は北海道を代表する大樹海が広がり、10月上旬頃から紅葉の名所となります。



三国峠



三国トンネル



現地情報 1

- ・三国峠には、展望台やカフェが併設されています。お問い合わせは上士幌町観光協会まで。☎ 01564-7-7272

現地情報 2

- ・国道沿いでは、駐車帯がない場合もある事から、駐車の際や写真撮影の際は、十分に気を付けましょう。



雪虫(トドノネオオワタムシ)

雪虫は体長が5mm前後で、全身が綿毛で包まれたような小さな虫です。ふわふわと舞い飛ぶ姿が雪のように見えることから、北海道では雪虫の名で呼ばれています。正式名は「トドノネオオワタムシ」といい、北海道から東北地方にかけて生息しており、初雪の降る少し前の晩秋に発生することが多く、冬の到来を知らせる風物詩とされています。雪虫はアイヌの人々からも、「ウバシキキリ=互い・走る・虫」と呼ばれており、やはり冬を知らせる虫だったようです。



雪虫（トドノネオオワタムシ）

雪虫調査（株式会社ウェザーニュース）

雪虫を目撃してから約1週間～10日で初雪が降るという俗説が本当かどうか調査する試みで、雪虫発生日から初雪までの期間を調べ、過去の調査結果と比較検証しました。2007年以降調査しているのは、道内主要8都市で、それによると8都市の5年平均は、「21日後」と俗説よりも遅いという結果が導き出されました。

- ・札幌市： 18日後
- ・旭川市： 11日後
- ・函館市： 19日後
- ・釧路市： 27日後
- ・苫小牧市： 19日後
- ・網走市： 25日後
- ・根室市： 27日後
- ・帯広市： 23日後



霜が降りた葉



層雲峡で見られる「紅葉・黄葉」する樹木

「美しい紅葉の条件」

紅葉の美しさは、いかに多くの糖分が葉に蓄えられたかと、葉緑体が早く分解されるかにかかっていると言えます。日中は温暖で夜間に急激に冷え込むとクロロフィルの分解は促されます。夜の気温が高いと離層が不完全なために、日に蓄えた糖分を呼吸などに使ってしまい、色づきは不十分なものとなる事があります。美しい紅葉になるには、まず昼と夜の温度差が大きいというのがポイントとなります。

一般的には、気温が8度を下回るような日が続くと紅葉が進むといわれていますが、氷点下の気温のもとでは逆に葉は萎れてしまいます。ですから2～5度ぐらいの気温が続き、短期間で離層が進んだ方がきれいな紅葉となります。また空気が澄んでいて、葉が充分に日光を受けるということも必須条件です。



ウラジロナナカマド

イタヤカエデ

ナナカマド

カツラ



シラカンバ

ハウチワカエデ

ハルニレ

オガラバナ